

令和 2 年度事業報告書

公益財団法人全国友の会振興財団

第1 友の会館の設置、管理、運営事業

各地友の会が公益活動を行うために必要な拠点として友の会館を提供し、その活動強化と地域社会への貢献をはかる。

1 友の会館耐震診断のために調査を続けた。

耐震補強工事完了	神戸友の会館	1,793 万円
耐震診断、補強工事	現在16友の会館継続中	

2 友の会館改修工事

増 築	札幌第二	5,832 万円
屋根工事	千葉	655 万円
〃	奈良	610 万円
外壁工事	武蔵野	478 万円

第2 全国友の会が行う活動に対する援助・助成事業

助成金 **1,850 万円**

全国友の会は、家庭生活の健全な発達に力をつくし、社会の文化向上に寄与することを目的として、生活研究を行い、それをもって周囲に働きかけた。

以下の全国友の会活動計画に対し援助、助成を行った。

1、全国友の会大会

コロナ禍のため、令和1年度の全国各地の実践の報告と令和 2 年度の全国友の会の諸活動の協議をオンラインで行った。全国、海外からの参加で1日のみの開催とした。
全国友の会創立 90 年の年にあたり記念大会を予定したが記念大会は延期となった。

開催日等	令和2年9月8日(火)	参加人数	251人
開催方法	オンライン開催		

2、全国友の会創立 90 年の歴史と「全国友の会」の活動を広く社会へ伝えるための

冊子の制作をつづけた。2021 年 11 月発行を目指している。

3、生活研究

次に掲げる各種活動の内容向上のための研究と実践

(1) 友の会「U6事業」の助成

各地友の会で子どもたちへの集まりのために必要な用具類、会場費、講師への謝礼、交通費などの助成を行った。コロナ感染は地域差があり対面で集えたところも、日ごろ行政とタイアップしている友の会は行政からの依頼で子どもの集まりもあった。

助成 34友の会から48件

(2)生活合理化啓蒙運動としての各種の研究

4年に一度の全国農村愛土生活研究会をオンラインで行った。

開催日 令和3年2月17、18日 参加延べ人数724人

農家漁家会員相互の生活研究、地産地消の奨励、伝統野菜についての学び。

農業生活者と消費者の交流をとおして循環型社会を目指しての生活等を中心とした会員相互の研究と実践を聞きあつた。

(3)全国家計調査 9,614人参加

友の会員を対象として毎年家計調査を実施。この調査から、消費動向、生活観を考察し、生活全般について研究する。家事家計講習会などの資料としても活用する。

(4)機関紙「友の新聞」の発行 年11回 カラー写真入りは3回行った。

(5)資料の整備、情報公開

友の会関連資料及び史料室の管理、図書、史料のアーカイブ化。

第3 友の会の家事家計講習会に対する援助、助成事業 92,389円

毎年全国で一斉に開催される家事家計講習会会場費とオンライン開催のためのネット環境への助成を行った。会場助成 6か所、オンライン開催 25友の会 68回

第4 U6プロジェクト推進に対する助成 150万円

幼児生活団、4才児グループ、3才児の集まりの指導者を含め「U6活動」の推進について全国から参加オンラインで3回開催した。

地方ではインターネット環境の整った場所を借りて参加したところもあった。

第5 友の会東日本大震災復興支援活動に対する助成

コロナ感染不安のため予測がつかず取りやめとなった。

第6 社会福祉援助、災害救援 250万円

- (1) アジア学院、 50万円
- (2) 志染愛真ホーム 50万円
- (3) 日本心身障害児協会 50万円
- (4) 人道的見地からコロナウイルスワクチンを発展途上国に積極的に配布を行っている「国境なき医師団」へ 100万円

第7 維持会員の異動状況

維持会員	期首	期末	増減
	16,266人	15,408人	-858人